



九州情報大学 学生実態調査2022

2022年度学生実態調査について

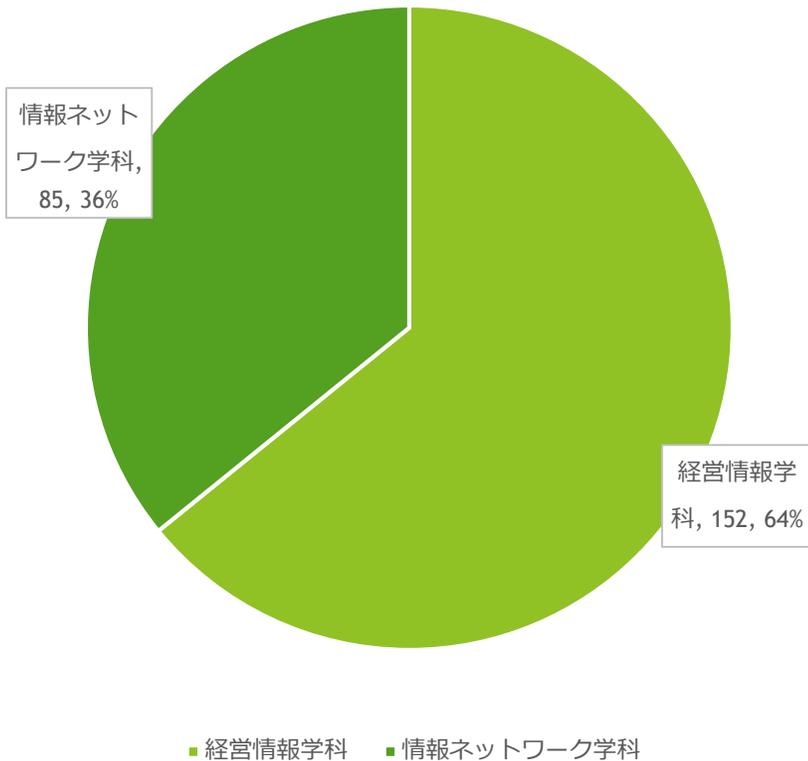
- ▶ 調査対象者：全学年の学部学生
- ▶ 調査日程：2023年1月16日（月）～27日（金）であり、237件の回答があった。
- ▶ 調査内容
 1. 基本属性
 2. 大学生の生活
 3. 大学生の学び
 4. 大学生の意識と行動等
- ▶ 九州情報大学FD委員会では、調査結果を公表することを原則としており、毎年「学生生活実態調査報告書」として学生へのフィードバックを行うと共に、教職員で情報を共有し、授業等教育活動の見直しに活用している。

2022年度学生意識調査について

大項目	設問数
1.あなたの属性	3
2.大学生活への期待	2
3.実際に力を入れたこと	6
4.魅力を感じる授業方法	1
5.大学の施設設備について	4
6.不安への対処法	2
7.大学への期待に対する成果	10
8.将来について	2
9.本学の「建学の精神」「3つのポリシー」についての理解	8
10.大学教育の総合評価	3

- ▶ 学生意識調査の設問のカテゴリと内容は左の表のとおりである。
- ▶ 学修指導は教育指導と学生支援の両立によって成り立つと考えられるため、設問には、教育面と学生生活面の両方の内容を問う項目が含まれている。

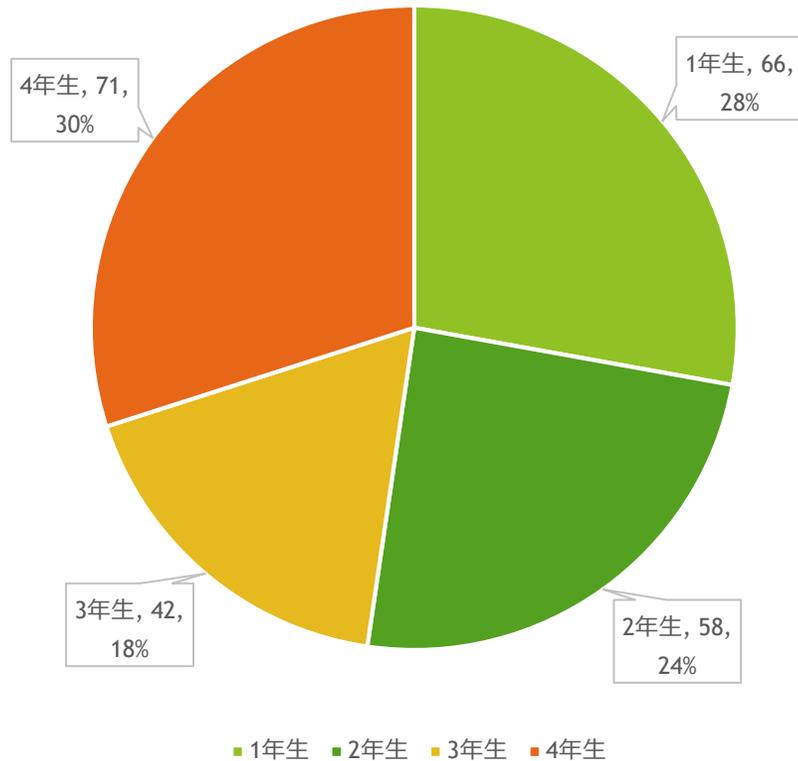
あなたの学科はどちらですか？



1-1 あなたの学科はどちらですか？

- ▶ 回答者の学科属性は、経営情報学科が64%とほぼ6割を占め、情報ネットワーク学科が4割である。

あなたは何年生ですか？



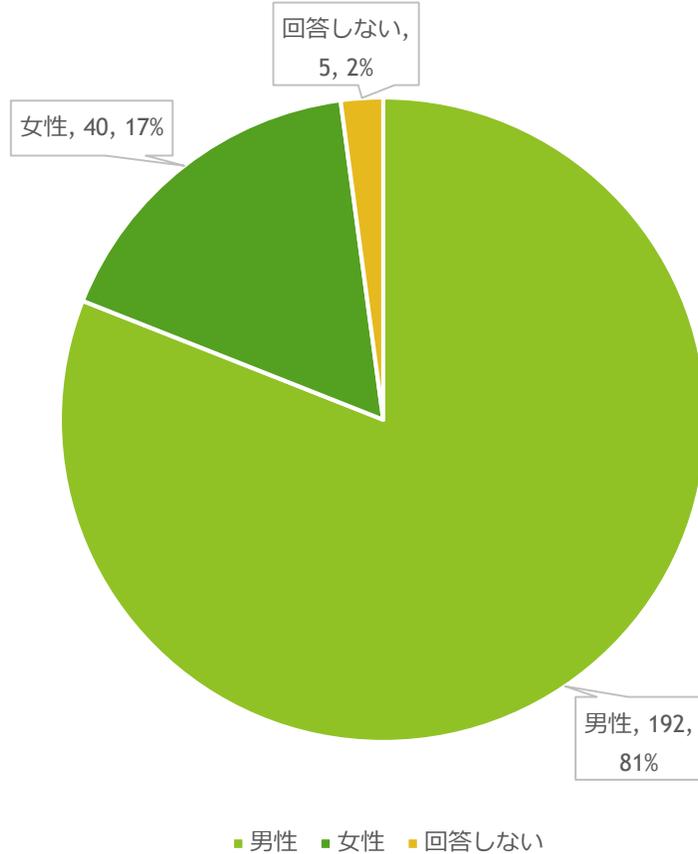
1-2 あなたは何年生ですか？(2022年3月までの学年を選んで下さい。つまり、現4年生は3年生を、現3年生は2年生を、現2年生は1年生を選んで下さい。)

- ▶ それぞれの学年の比率は、3年生が多少少な目ではあるものの、概ねバランスがとれていると思われる。

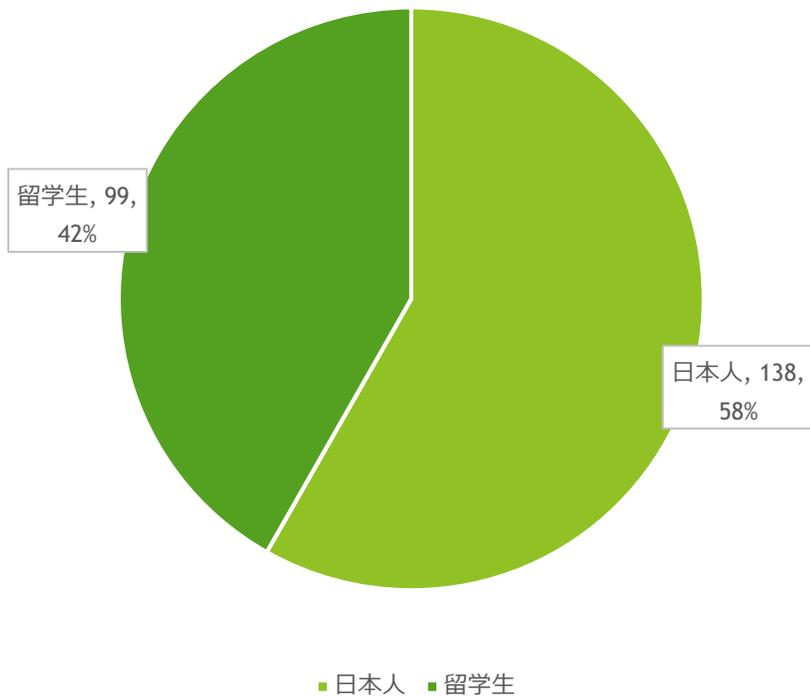
1-3 あなたの性別はどちらですか？

- ▶ 回答者の男女比は、おおよそ四対一である。学生のプライバシーに配慮して、「回答しない」という項目も設けている。

あなたの性別はどちらですか？



あなたの国籍について教えてください。

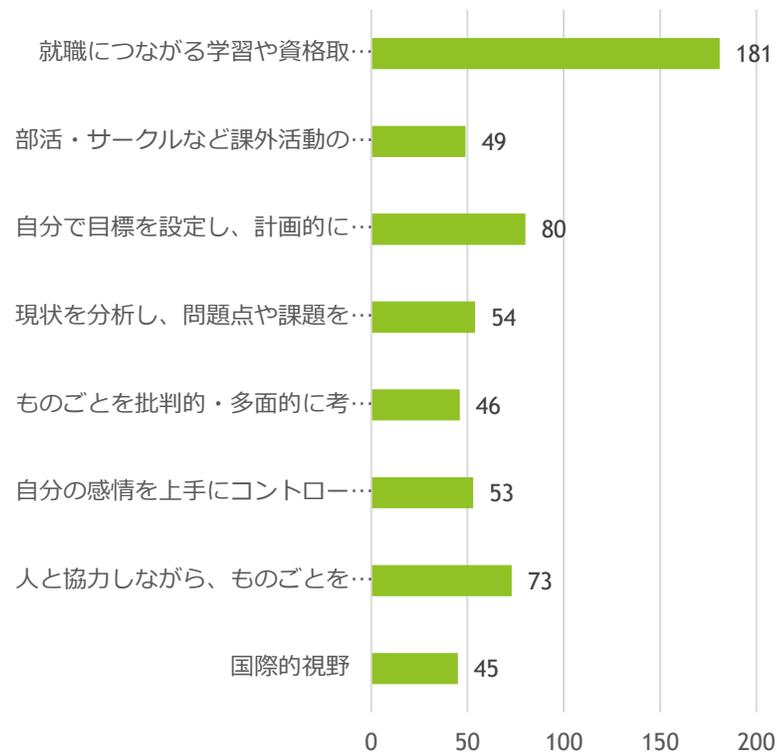


1-4 あなたの国籍について教えてください。

- ▶ 回答者の国籍は日本人が約6割、留学生が約4割である。

2-1 大学生生活に何を期待していますか？（複数回答可）

大学生生活に何を期待していますか？
（複数回答可）



- ▶ 学生に大学生生活で期待することを尋ねると、左の表のような結果となった。昨年同様、学生の興味はやはり就職に大きく傾いていることが分かる。卒業後の就職を念頭に、計画性を持って事に当たる力や、他人との協調を図る能力など学業以外にも人間的に成長することを期待していることがわかる。

ありません

ありません。

何もありません。

最近日本で就職することが難しいですから。

自分の能力上げるため大切だからです。

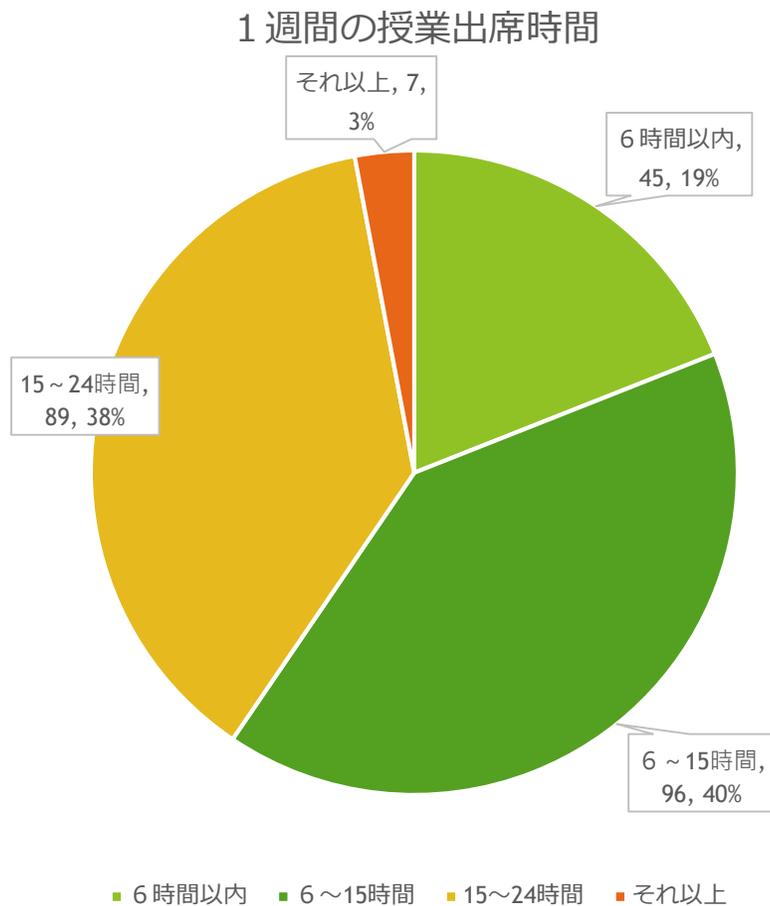
大学からそのこと
もらうからです。

立派な社会人になりたいです。

2-1 大学生活に何を期待していますか？（その他）

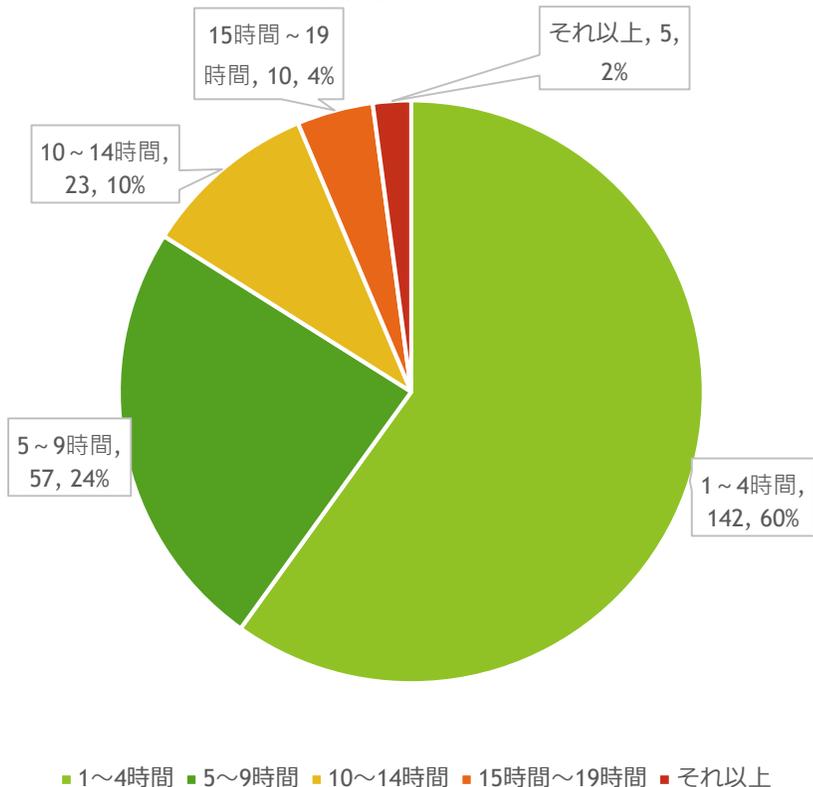
- ▶ 左は、その他の項目として、選択肢ではなく具体的に内容を書いてもらった部分の解答例である。

3-1 1週間の授業出席時間（遠隔授業時間も含む）は、合計何時間ですか？1時限を1.5時間として考えてください。



- ▶ 回答者は1年生から4年生まで、全学年に及んでいるため、週1～2時限の授業を受けている学生から、平均して毎日3時間以上授業を受けている学生まで、さまざまであるが、3%程度の学生は突出して授業に取り組んでいることが分かる。

1週間の予習・復習時間は合計何時間ですか？

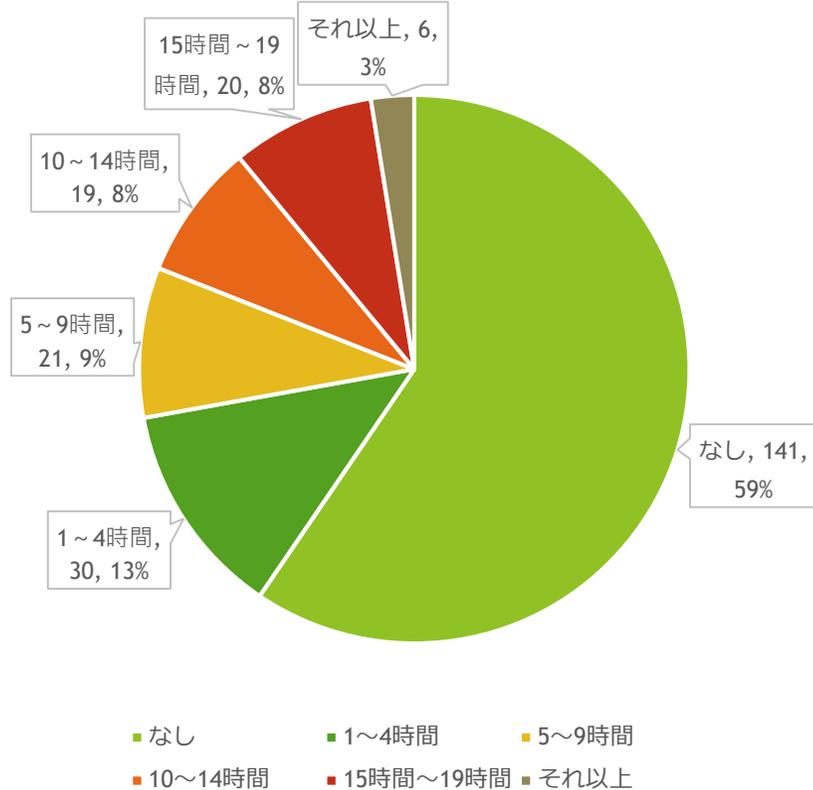


3-2 1週間の予習・復習時間（課題・レポート作成などの時間を含む）は合計何時間ですか？

- ▶ 学生の授業以外の学習時間を問うた質問である。結果を見てみると、6割近くが1~4時間程度となっており、先の授業数のデータと引き比べてみると、昨年以上に相当数の学生が十分な学習時間を確保できていないことがわかる。2021年のデータと比較すると、週に10時間以上学習する学生の割合が20%から16%に減少している。2020年度と比較すると26%から10%ものダウンである。やはり、コロナの影響が弱まり、遠隔授業やその課題から解放されたことと無関係ではなさそうである。

3-3 1週間の部活・サークル活動時間は、合計何時間ですか？

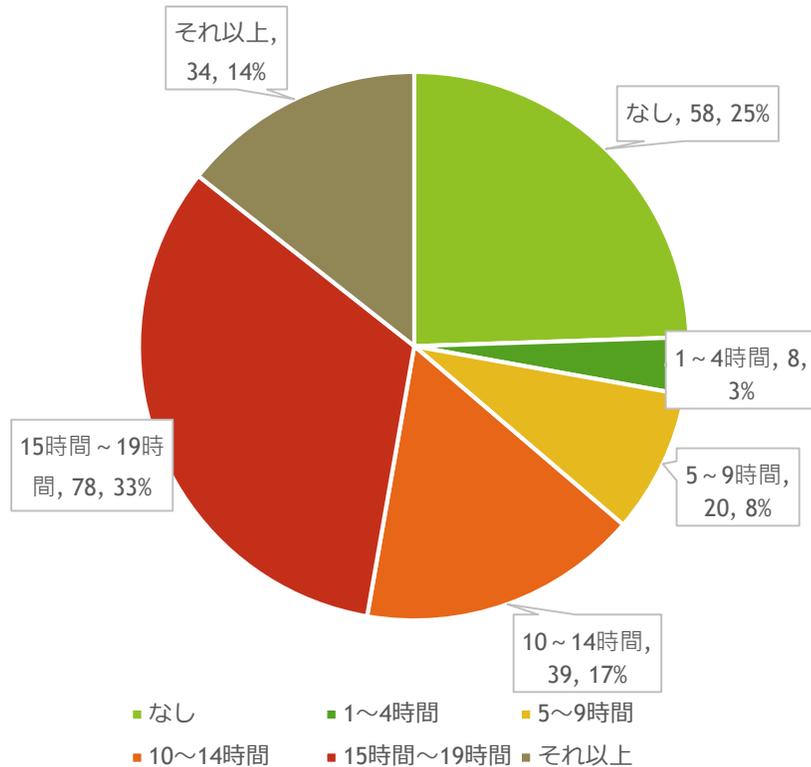
1週間の部活・サークル活動時間は、合計何時間ですか？



- ▶ 2020年度は、76%の学生が部やサークルの活動に全く参加していなかったが、2021年度は69%であった。今年度は4割の学生が、何らかの形で部活動を行っているようである。部活動に取り組んでいる学生の活動時間も昨年と比べて全体的にかなり伸びていることから、コロナを防ぐために行われていた昨年までの規制が、やはり、部活動にも大きく影響したことが見て取れる。

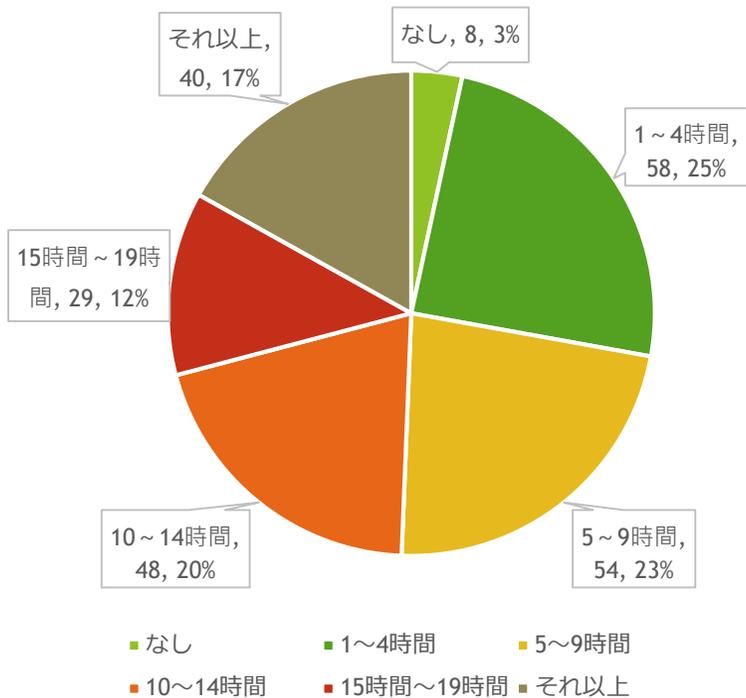
3-4 1週間のアルバイトの時間は、合計何時間ですか？

1週間のアルバイトの時間は、合計何時間ですか？



- ▶ アルバイトをしていない学生は昨年度の23%とほぼ変わらない25%であり、4人に3人はアルバイトをしている状況である。コロナ禍において学生の生活苦が増大していたことは種々の調査からも明らかになっていたが、コロナが終息しつつある現在でも昨年からの物価高がより一層学生の経済的負担を増加させている。表を見ると、昨年と比較して大きな変化は見られないが、15時間～19時間の学生がわずかに増加している。

1週間のインターネットやSNS（ゲームを含む）の時間は、合計何時間ですか？

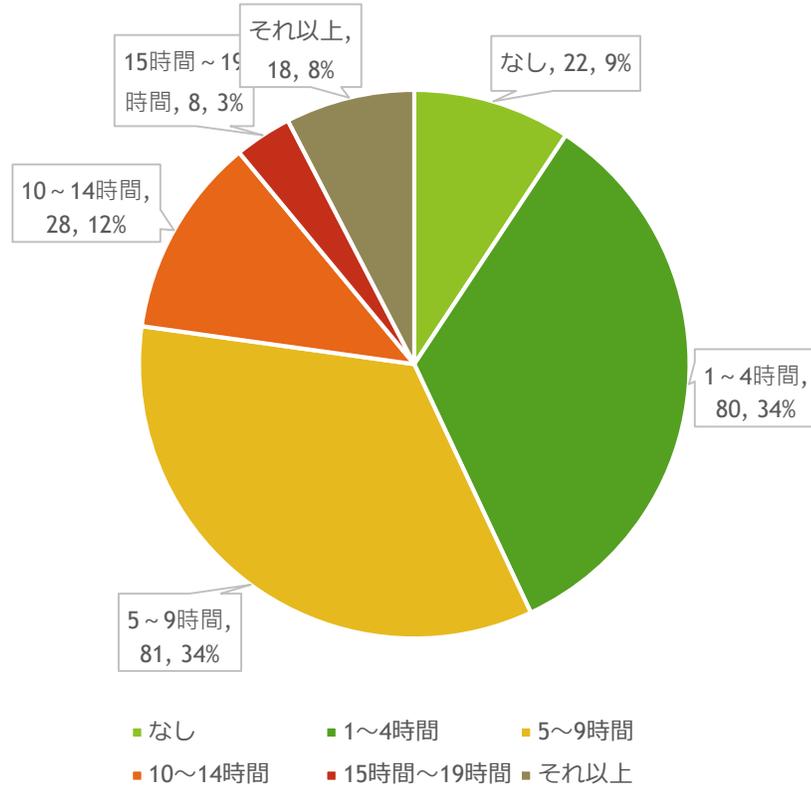


3-5 1週間のインターネットやSNS（ゲームを含む）の時間は、合計何時間ですか？

▶ 今年度より、授業が遠隔から対面へと移行するのに伴って、授業のために毎日長時間ネットに繋がっていかなくてはならない生活から解放された学生たちは、自分の生活や嗜好に応じて適宜インターネットやSNSを利用している状況であることがわかる。昨年と比して、全体的に数パーセントずつ使用時間が長くなっているものの、3-2においてわかった学習時間の一層の不足が、特にネットの使用時間の伸びにつながっているわけではなさそうである。

3-6 1週間のうち 上記以外の趣味にか けた時間は、合計何 時間ですか？

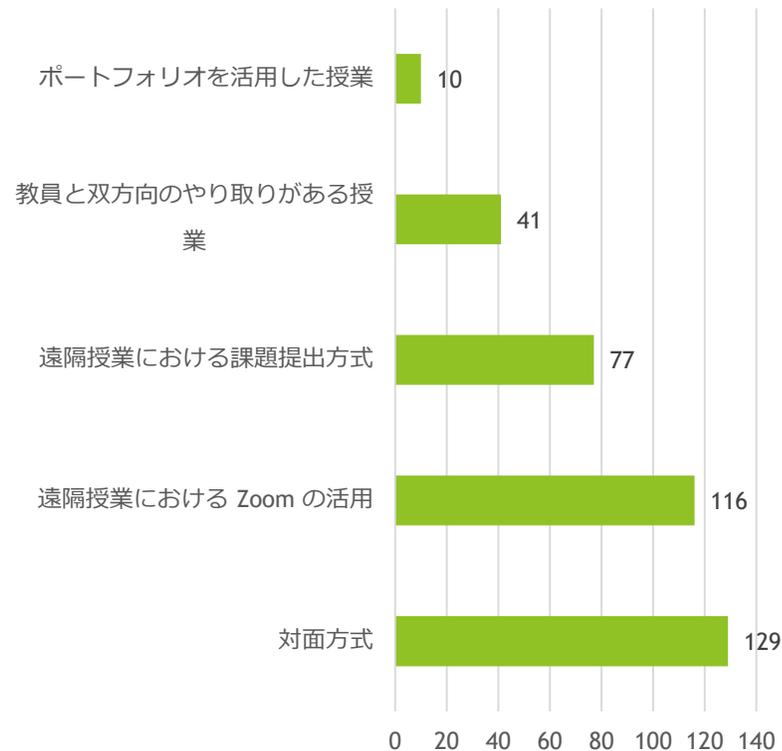
1週間のうち上記以外の趣味にか
けた時間は、合計何時間ですか？



- ▶ インターネットに関係しない趣味の分野は、「なし」と答えた学生は、昨年同様9%であるが、週に4時間以内とする学生は昨年の39%から5%低下し34%となっている。その分、5~9時間が6%、10~14時間と回答する学生が3%、それぞれ増加し、学生が趣味にかける時間は全体的にますます大きく伸びている。学生がネット以外の分野での趣味を楽しむ環境が次第に戻ってきていることが表から読み取れる。

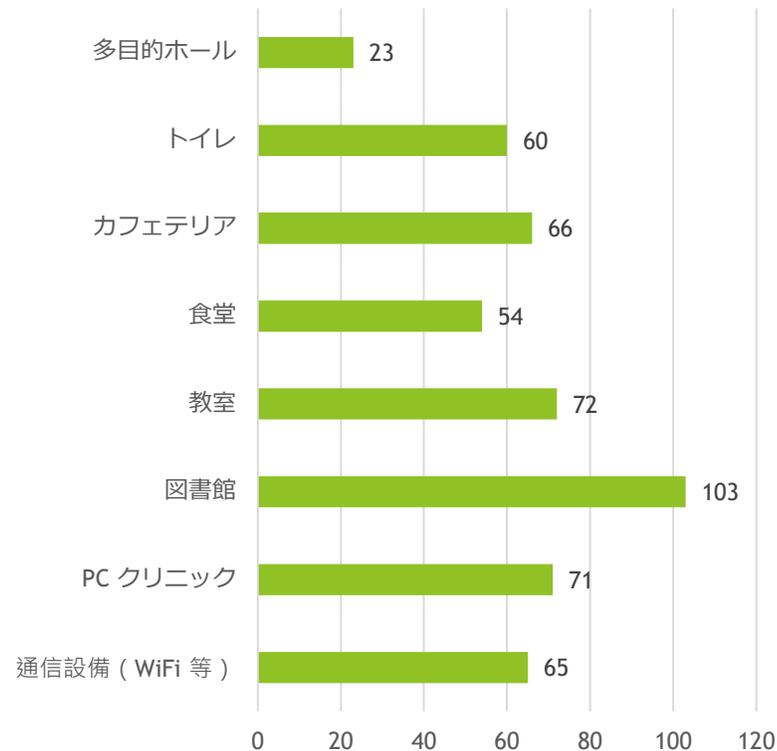
4-1 魅力を感じる授業方法はどのような授業方法はどのようなものですか？（複数回答可）

魅力を感じる授業方法はどのようなものですか？



- ▶ 学生が魅力を感じる授業として、昨年度はZoom授業が突出し、課題提出方式もある程度の支持を集めていた。今年度は原則的に対面授業が基本であるため、対面方式が学生にとって、最もなじみがあるようである。ただし、双方向の授業に魅力を感じる学生は昨年の52人よりもさらに減少していることから、自らが進んで調べ発表するタイプの授業ではなく、講義を傾聴するタイプの対面方式を好んでいることがわかる。

大学の施設・設備についてあなたが満足しているものどれですか？



5-1 大学の施設・設備についてあなたが満足しているものどれですか？（複数回答可）

- ▶ 大学の施設・設備に関しては、図書館に対する満足度が高い。PCクリニックや教室がそれに続いている。カフェテリア、通信設備やトイレ通信設備も学生の満足度を一定数勝ち得ているようである。
- ▶ 食堂については、昨年に引き続き、学生部による補助活動の一環としての食券の割引による成果が出ていると思われる。
- ▶ 多目的ホールに関しては、昨年同様学生の満足度が低いことがわかる。特にイベントが無い場合は、机や椅子を並べて学生に開放しているが、学生のニーズをより詳しく把握する必要があるかも知れない。

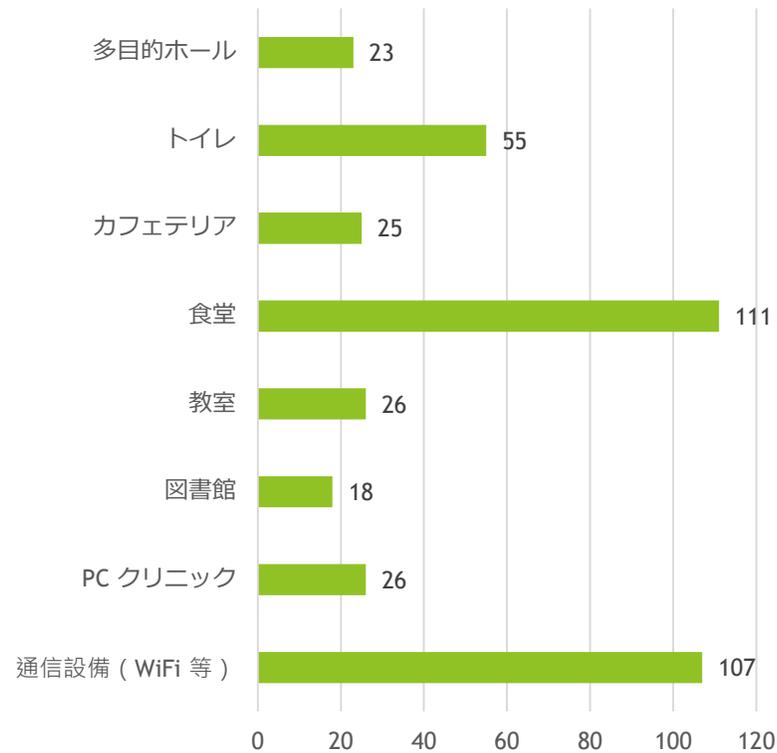
美味し買ったです。	特に無し	特にこれといったものがない
特ない	就職活動	何もありません。
ないです。	とくにないです	ありません
	ありません	

5-2 大学の施設・設備についてあなたが満足しているものどれですか？（その他）

- ▶ 左の表は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

5-3 大学の施設・設備についてあなたが満足できないものどれですか？（複数回答可）

大学の施設・設備についてあなたが満足できないものどれですか？



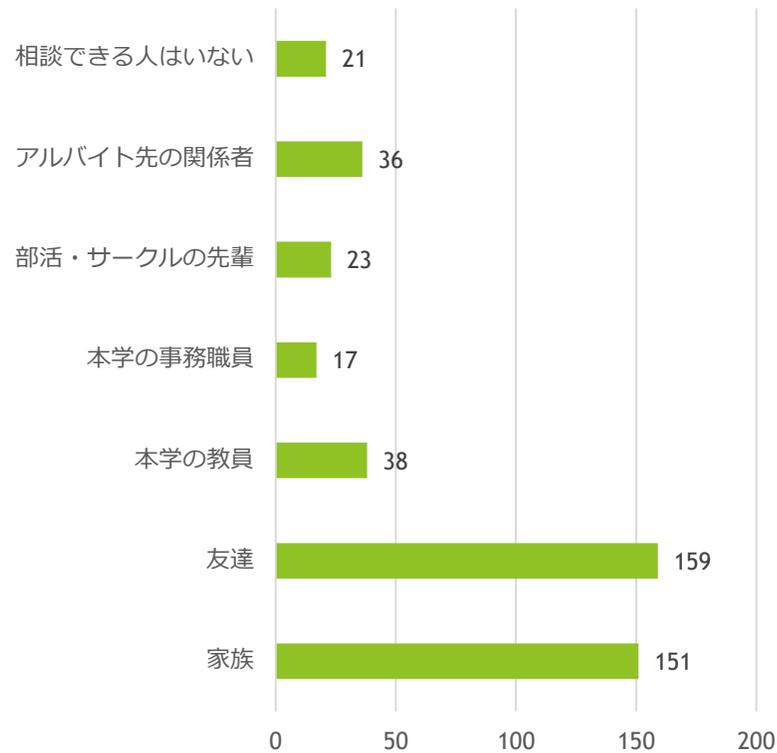
- ▶ 大学の施設・設備について、学生が不満を感じているのは、特に食堂と通信設備であるという結果となった。5-1の質問との整合性を考えると、図書館や教室、PCクリニックに感じる学生の満足感に特に矛盾はなさそうであるが、食堂や通信設備は、満足を感じている学生の2倍、不満を感じている学生がいることがわかる。トイレは満足不満が拮抗している。多目的ホールに関しては、満足、不満ともに低い数字であるので、学生の関心が余り高くないことが考えられる。

5-4 大学の施設・設備についてあなたが満足できないものどれですか？（その他）

- ▶ 左の表は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

便利ですからです。	特に無いです	特になし
特にありません	大学の施設・設備についてあなたが満足できないものはないです。	接続が難しい
食堂の定食は最低だ!	なし	ないです。
その設備がいいからです。	そのことを答えた理由はわか、インターネットが遅くて、食堂は他の国の学生さんもいるので、その国の食堂も作ってほしいです。	いいえ、ありません。
ありません	wifiはやや弱いです。メニュー数を増やしてほしいです。	

悩み事や不安なこと、将来のことなどを気軽に話せる人は誰ですか？



6-1 悩み事や不安なこと、将来のことなどを気軽に話せる人は誰ですか？（複数回答可）

- ▶ 相談できる相手として友達や家族が圧倒的に多い。これはある意味当然の結果と考えられるが、教員や事務職員を選んでいる学生も散見され、その割合は昨年とあまり変わらない。引き続き学校側が学生から一定の望ましい信頼を得ていると考えて良いだろう。気になるのは「相談できる人がいない」と答えた学生の存在が、昨年よりわずかに増加していることである。孤独感の中で悩みを抱えることないように、学生の相談室の存在を周知し、学生が相談しやすい環境を更に整える必要があると思われる。

特になし

他の大学の友達、
ネットの友達

いいえ、ありませ
ん。

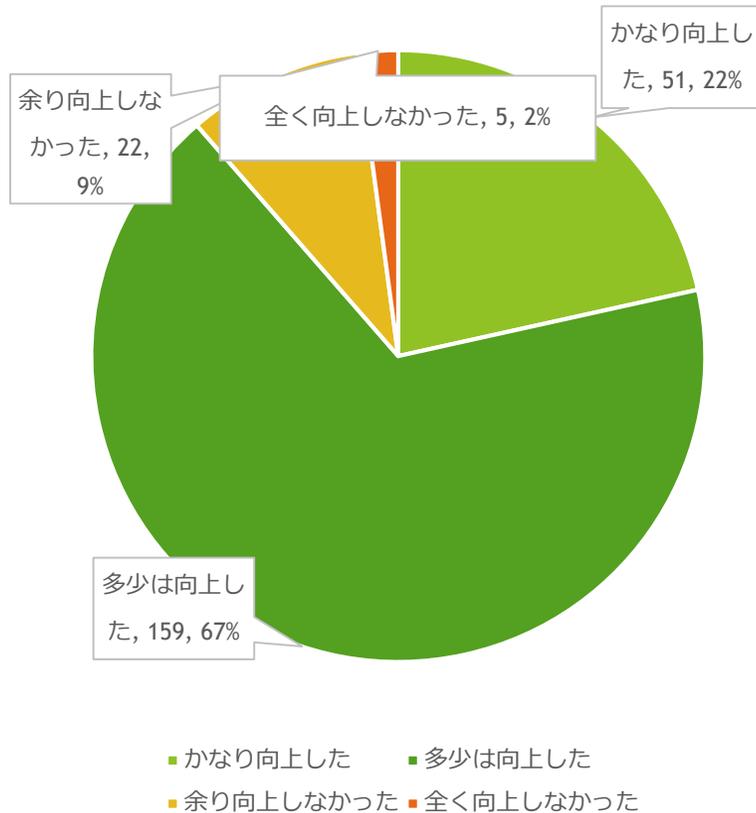
ありません

ありません

6-2 悩み事や不安な こと、将来のことなど を気軽に話せる人は誰 ですか？（その他）

- ▶ 左の表は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。
- ▶ 回答結果が「なし」であっても集計している。

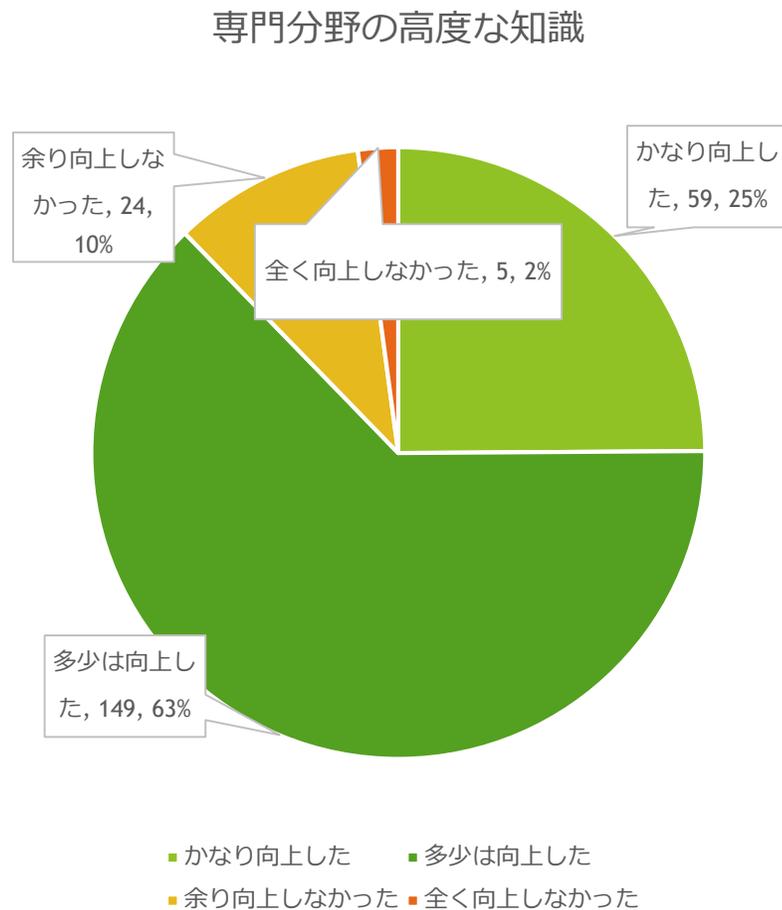
専門以外の幅広い知識や教養



7-1 専門以外の幅広い知識や教養

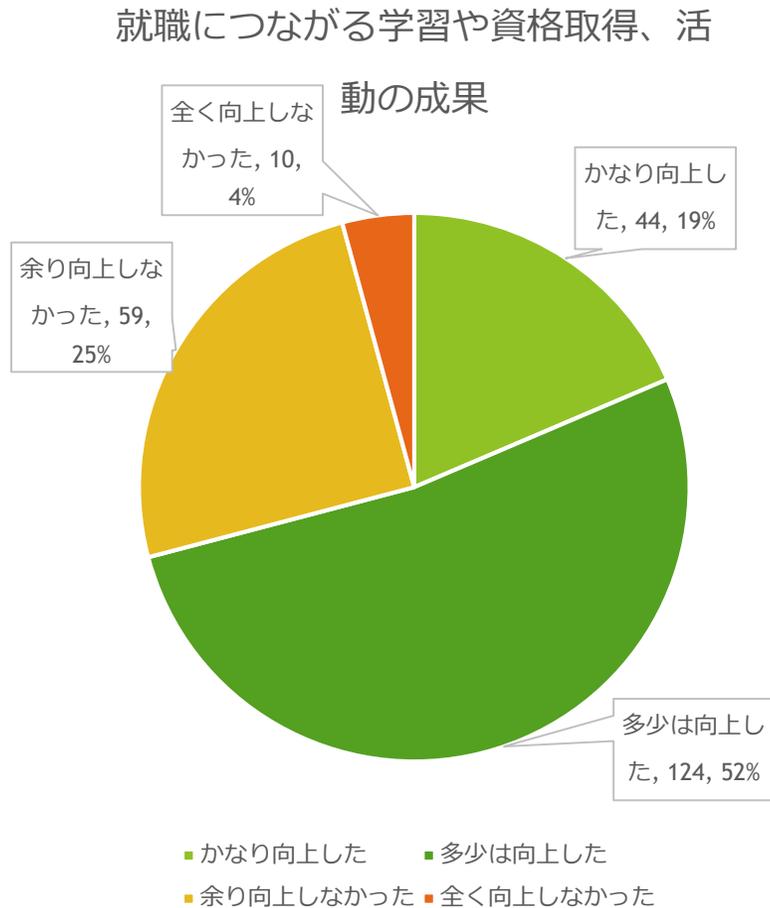
- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。専門以外の幅広い知識や教養については、22%（昨年は24%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、89%（昨年は86%）の学生が向上したと答えている。9割近くの学生が自己の成長を感じてくれているのは喜ばしいことだといえよう。

7-2 専門分野の高度な知識



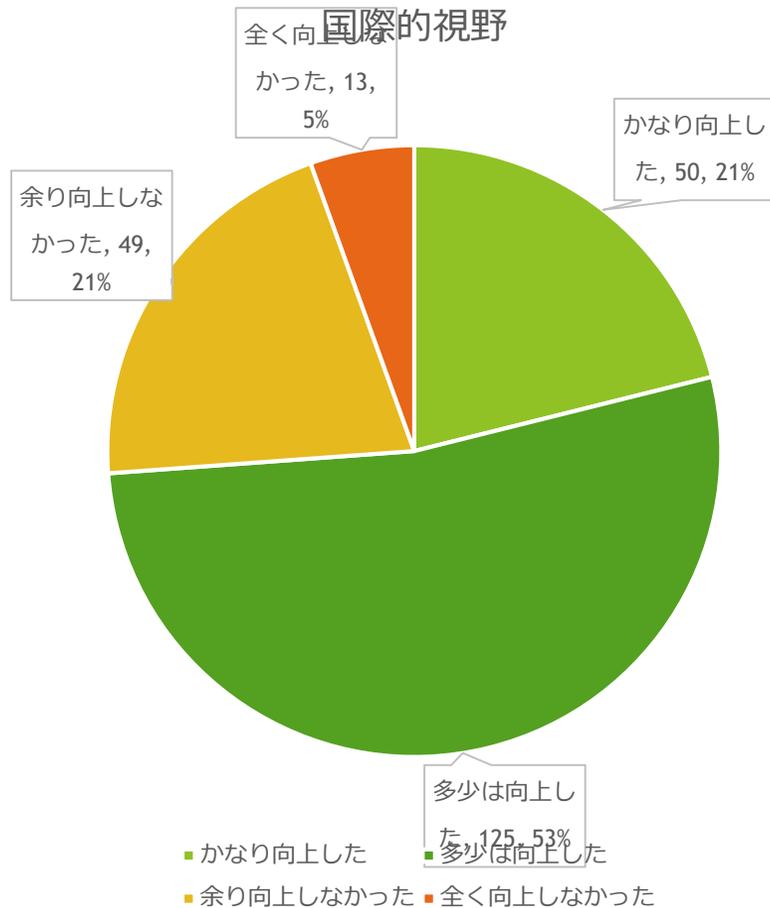
- 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。専門分野の高度な知識については、25%の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、88%の学生が向上したと答えている。昨年は84%、一昨年は79%であったので、3年続けて専門分野の高度な知識を獲得できたと考える学生の数が増加している。コロナが終息を迎え、遠隔から対面に向かうにつれて、学業に手ごたえを感じる学生が増えているのではないだろうか。

7-3 就職につながる学習や資格取得、活動の成果



- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。就職につながる学習や資格取得、活動の成果については、19%（去年は21%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、71%（去年は72%）の学生が向上したと答えている。

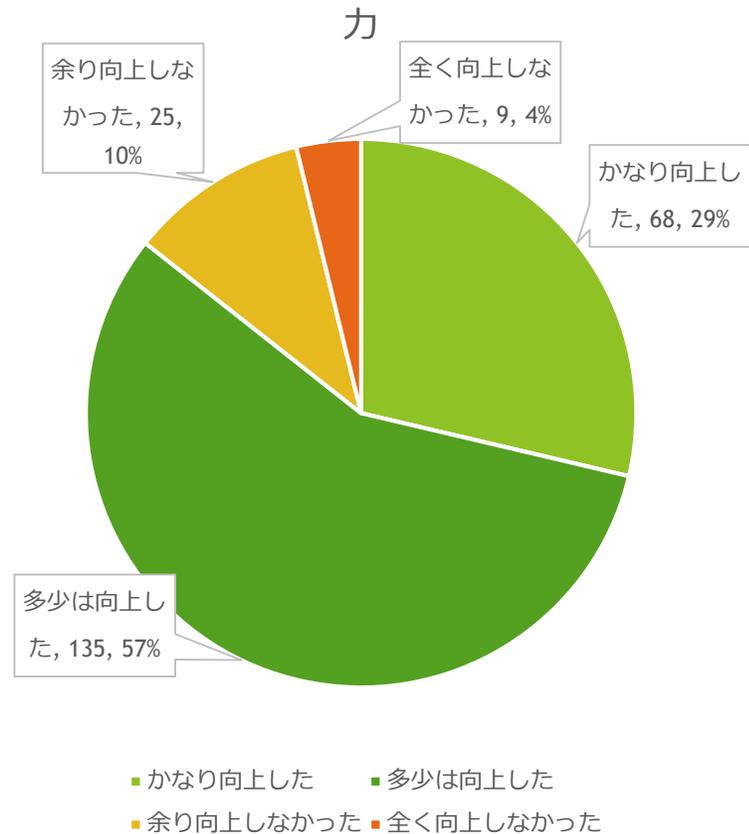
7-4 国際的視野



- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。国際的視野については、21%（昨年は19%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、74%（昨年は69%）の学生が向上したと答えている。この項目も3年連続で大きく伸びている。

7-5 人と協力しながらものごとを進める力

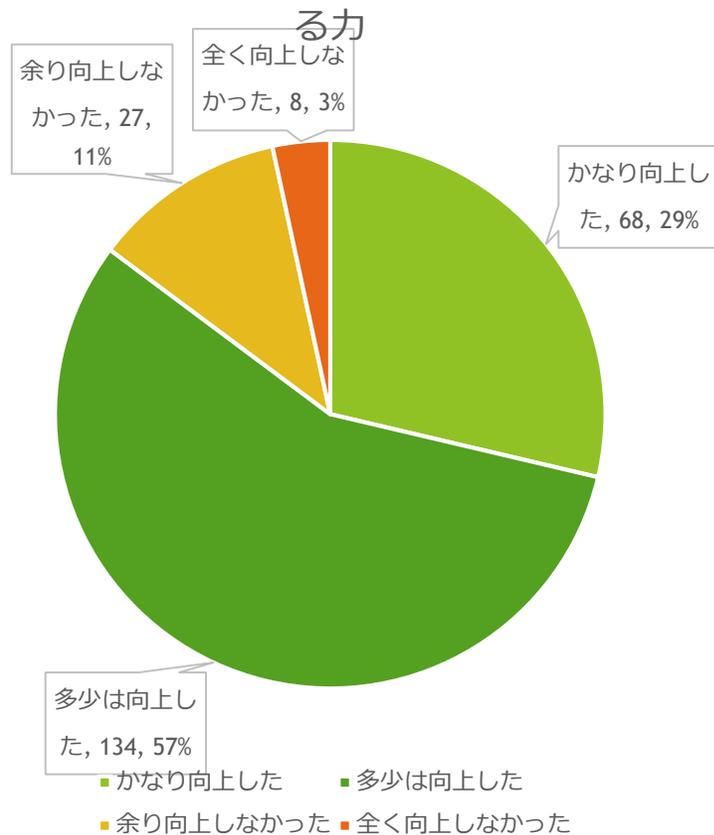
人と協力しながらものごとを進める



- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。人と協力しながらものごとを進める力については、29%（去年は22%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、86%（去年は82%）の学生が向上したと答えている。この項目がかなり伸びているのも、自宅から外へ出て学校で授業を受けることで、他人と関わる場が増えたことに起因すると考えられる。

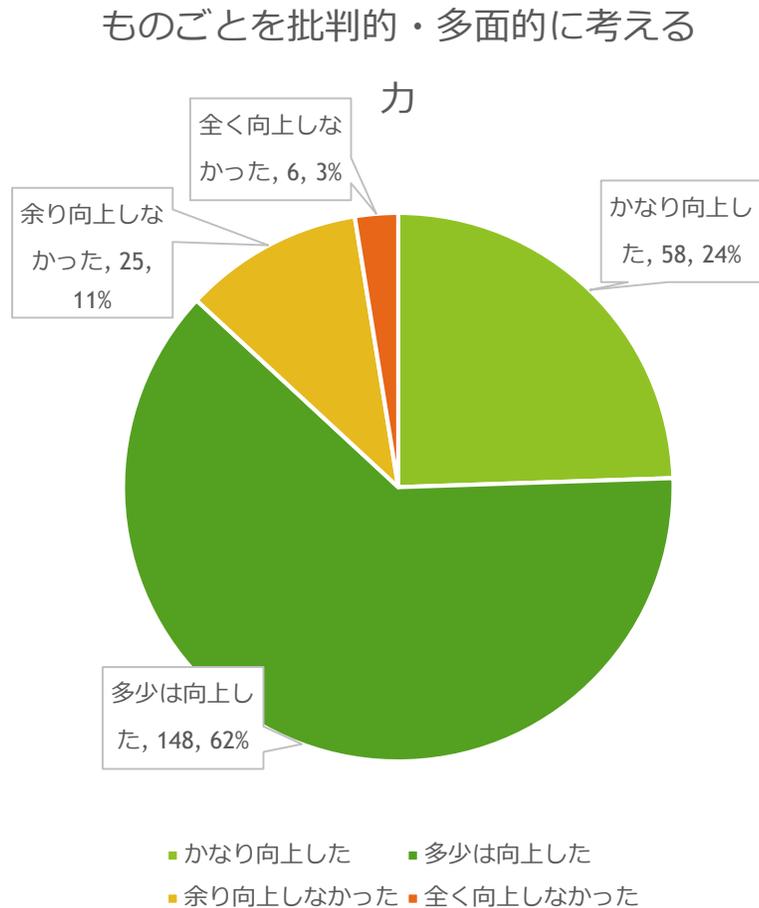
7-6 自分の感情を上手にコントロールする力

自分の感情を上手にコントロールする力



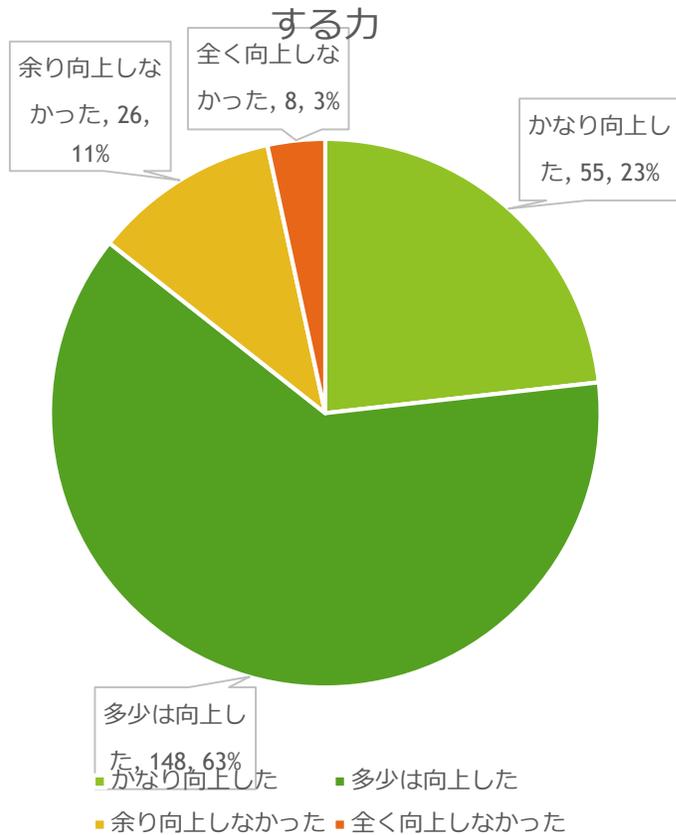
7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。自分の感情を上手にコントロールする力については、29%（昨年は28%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、86%（昨年は81%）の学生が向上したと答えている。好ましい増加傾向がみられる。

7-7 ものごとを内省的・多面的に考える力



- 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。ものごとを内省的・多面的に考える力については、24%（昨年は23%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、86%（昨年は82%）の学生が向上したと答えている。

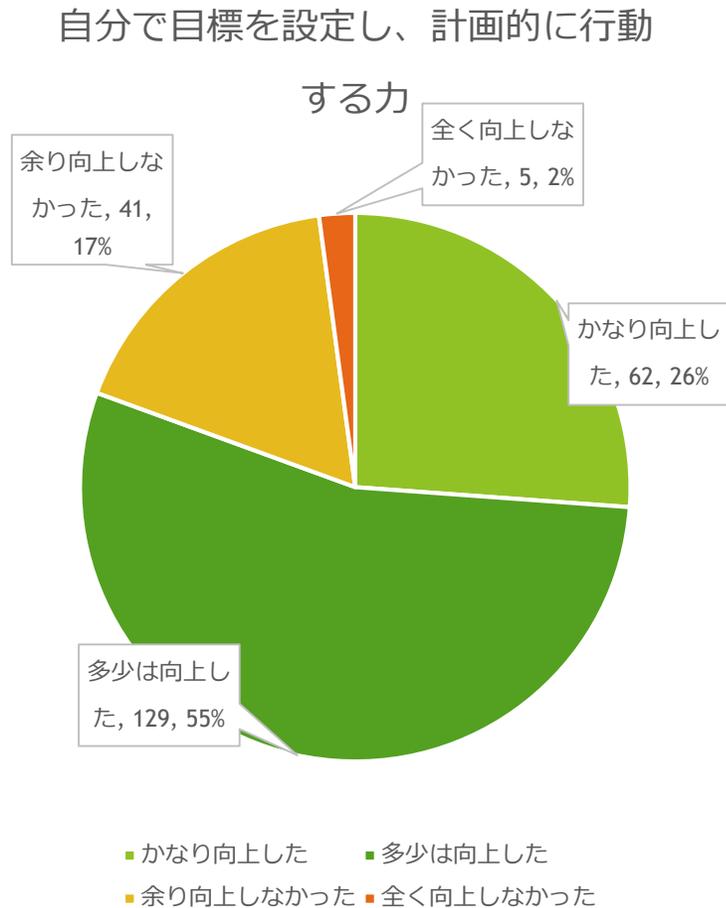
現状を分析し、問題点や課題を発見



7-8 現状を分析し、問題点や課題を発見する力

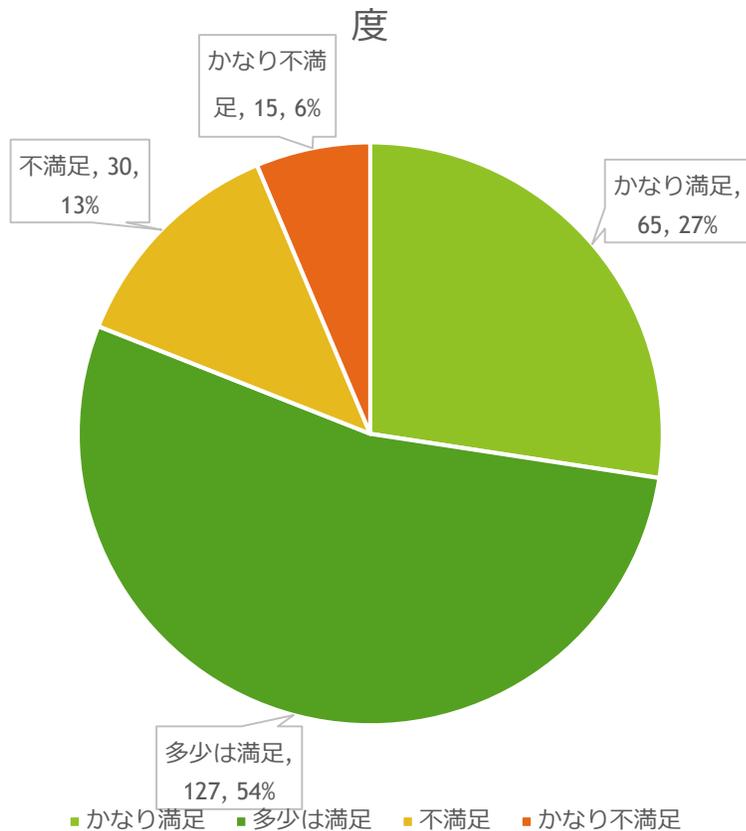
- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。現状を分析し、問題点や課題を発見する力については、23%（昨年は27%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、86%（昨年は81%）の学生が向上したと答えている。

7-9 自分で目標を設定し、計画的に行動する力



- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。現状を分析し、自分で目標を設定し、計画的に行動する力については、26%（昨年は25%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、81%（昨年は82%）の学生が向上したと答えている。

部活・サークルなど課外活動の充実

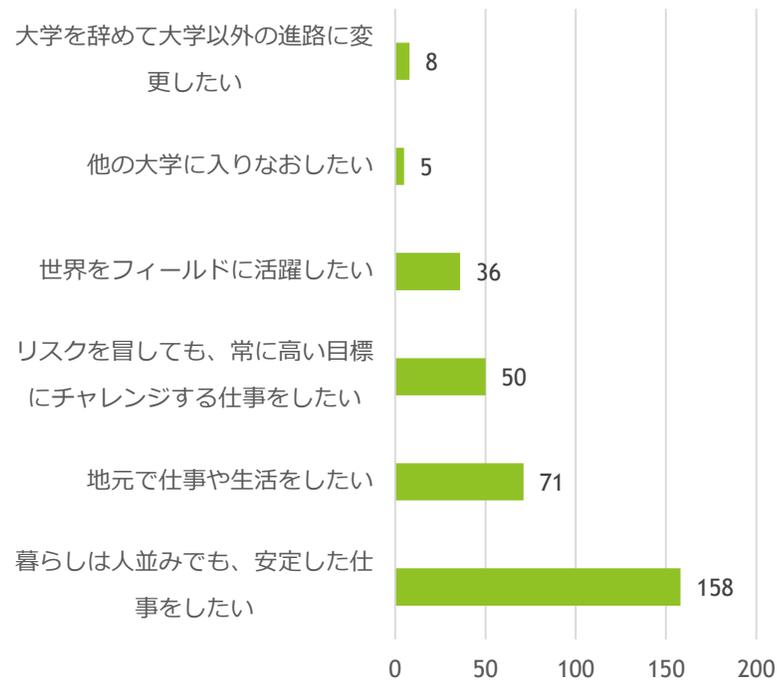


7-10 部活・サークルなど課外活動の充実度

- 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。部活・サークル、学友会活動など課外活動の充実度については、81%の学生が「かなり満足」または「多少は満足」と考えている。これは昨年の71%に比べて大きく10%の増加であるが、ここでもコロナ禍から解放されたことが、学生の課外活動に大きな影響を与えていることがよくわかる。3-3の質問項目で、59%の学生が部活動やサークルには所属していなかったが、昨年（69%）と比較すると無所属の学生は減少傾向にあり、学生の課外活動の充実へ向けてより望ましい方向へ進んでいると思われる。

8-1 あなたの将来の希望について、どれが当てはまりますか？（複数回答可）

8-1 あなたの将来の希望について、どれが当てはまりますか？（複数回答可）



▶ 8-1の質問は学生の将来の希望について問うたものであるが、例年通り多くの学生が安定志向であることが分かる。しかしながら、留学生在が回答者の4割程度を占めるからか、地元に戻りたいと考える学生に次いで、世界をフィールドに活躍したいと考える学生や、リスクを取っても高い目標にチャレンジしたいと考える学生が一定数存在することも注目に値する。

8-2 あなたの将来の希望について、どれが当てはまりますか？（その他）

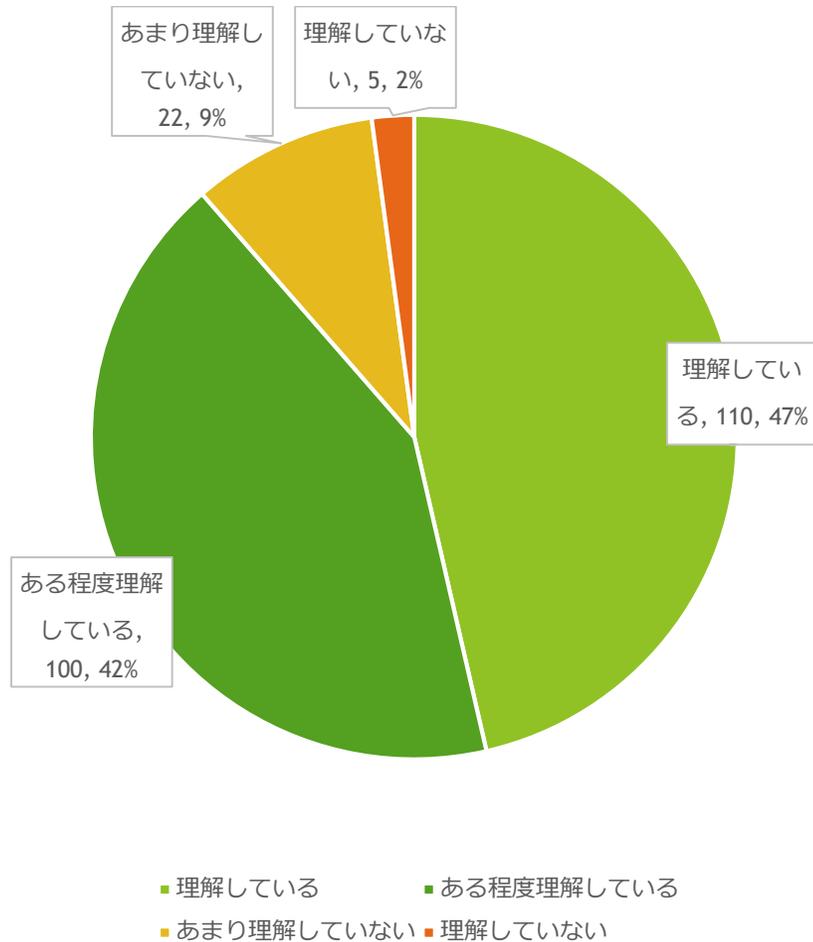
なし

いいえ、
ありません。

ありません

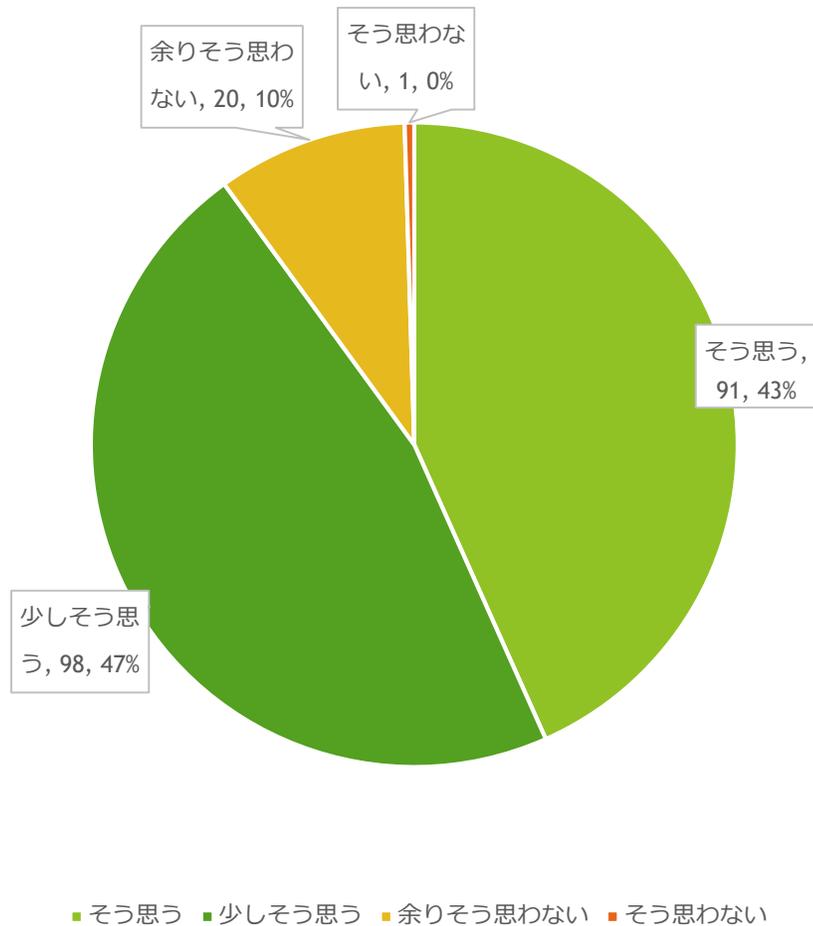
- ▶ 左の表は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

9-1 本学の「建学の精神」である「至心」「報恩感謝・自愛と奉仕」「容（かたち）は心を呼び、心は容（かたち）を呼ぶ」を理解していますか？



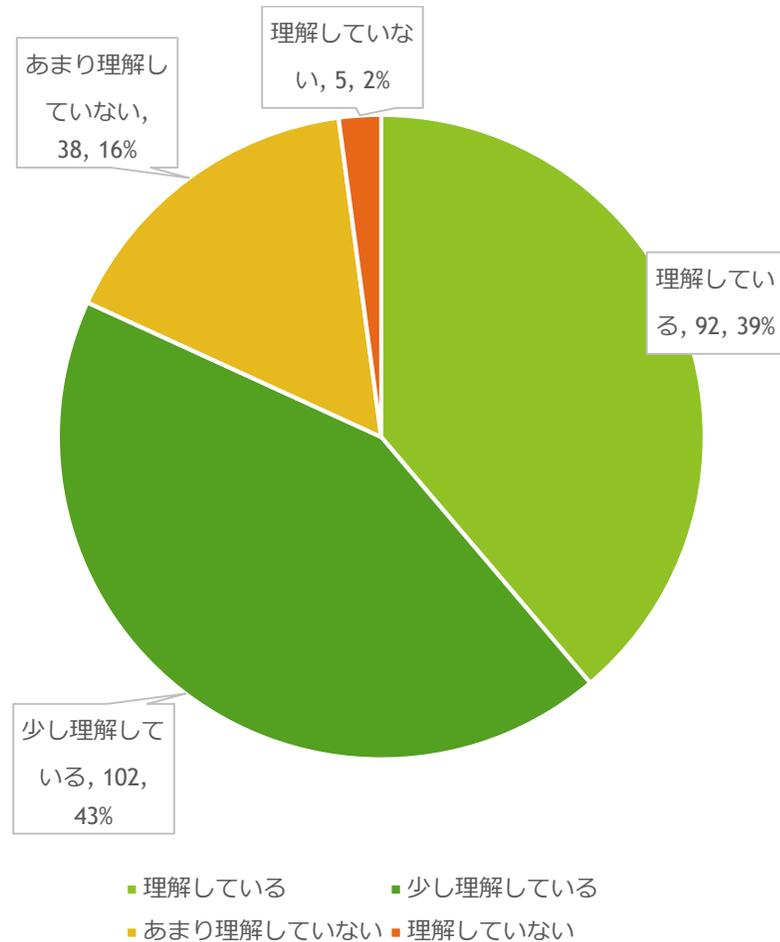
- ▶ 本学の「建学の精神」の理解に関する質問である。授業等で建学の精神に触れることも多いためか、「理解している」学生は全体の47%（去年は40%）を占め、「ある程度理解している」学生を加えると、全体の89%（去年は90%）の学生が理解しているという結果となった。「理解している」学生は2年続けて増加傾向にあり、教育の成果が出ているものと考えられる。

9-2 (上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ) あなたは「建学の精神」を意識して実行できていると思いますか？

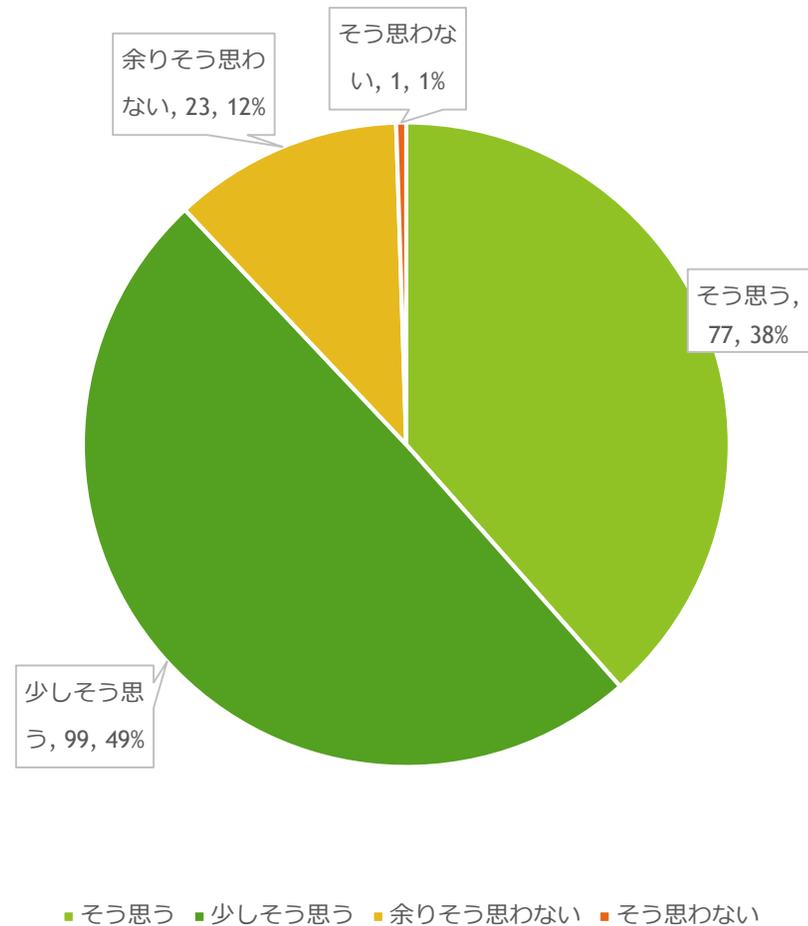


- ▶ 本学の「建学の精神」の理解に基づいて、日ごろの生活にその精神が活かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の43%（去年は29%）を占め、「少しそう思う」学生を加えると、全体の90%（去年は87%）の学生が、建学の精神を理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。

9-3 本学の入試要項に記載されている「アドミッションポリシー」（入学者の受け入れ方針）を理解していますか？



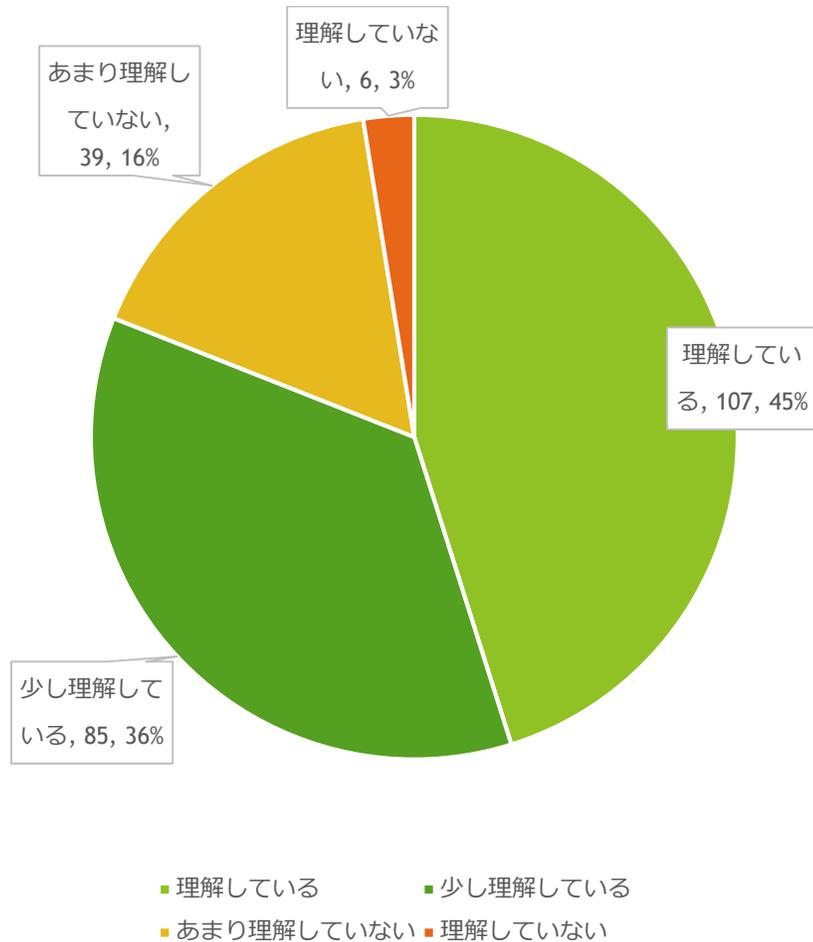
- ▶ 本学の「アドミッションポリシー」の理解に関する質問である。「理解している」学生は全体の39%（去年は28%）を占め、大きく増加している。「少し理解している」学生を加えると、全体の82%（去年は80%）の学生が理解しているという結果となった。



9-4 (上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ) 入学後に、あなたは「アドミッションポリシー」を意識して実行できていると思いますか？

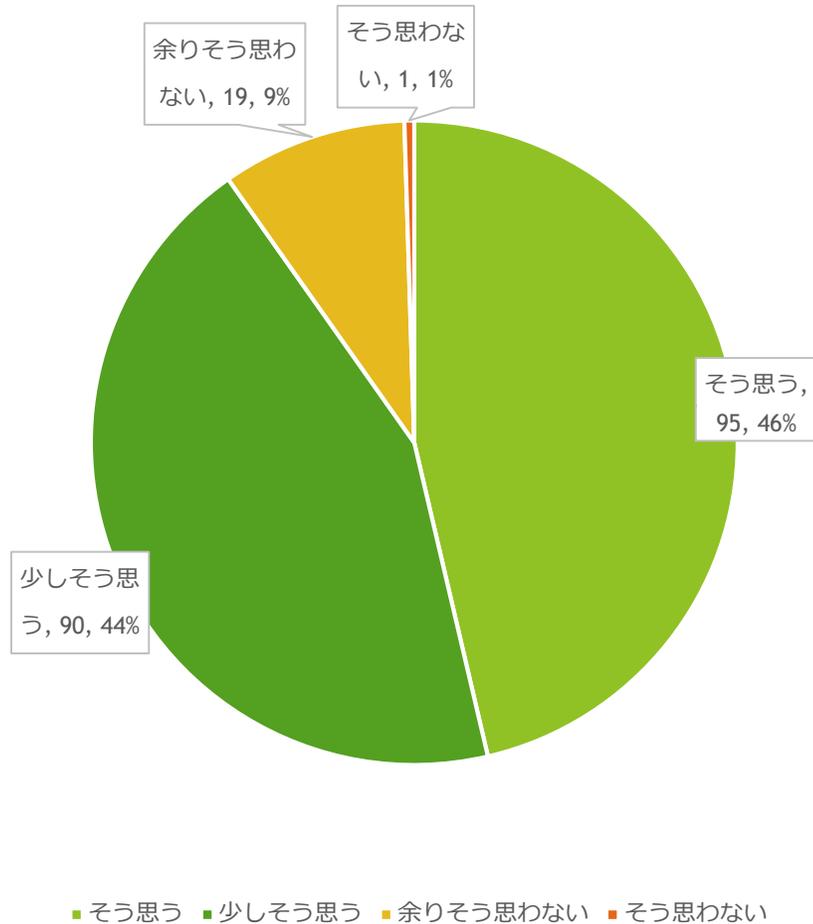
- ▶ 本学の「アドミッションポリシー」の理解に基づいて、日ごろの生活にその内容が活かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の38%（去年は26%）を占め、「少しそう思う」学生を加えると、全体の87%（去年は90%）の学生が、本学のアドミッションポリシーを理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。

9-5 本学の学生便覧に記載されている「ディプロマポリシー」（卒業認定・学位授与の方針）を理解していますか？



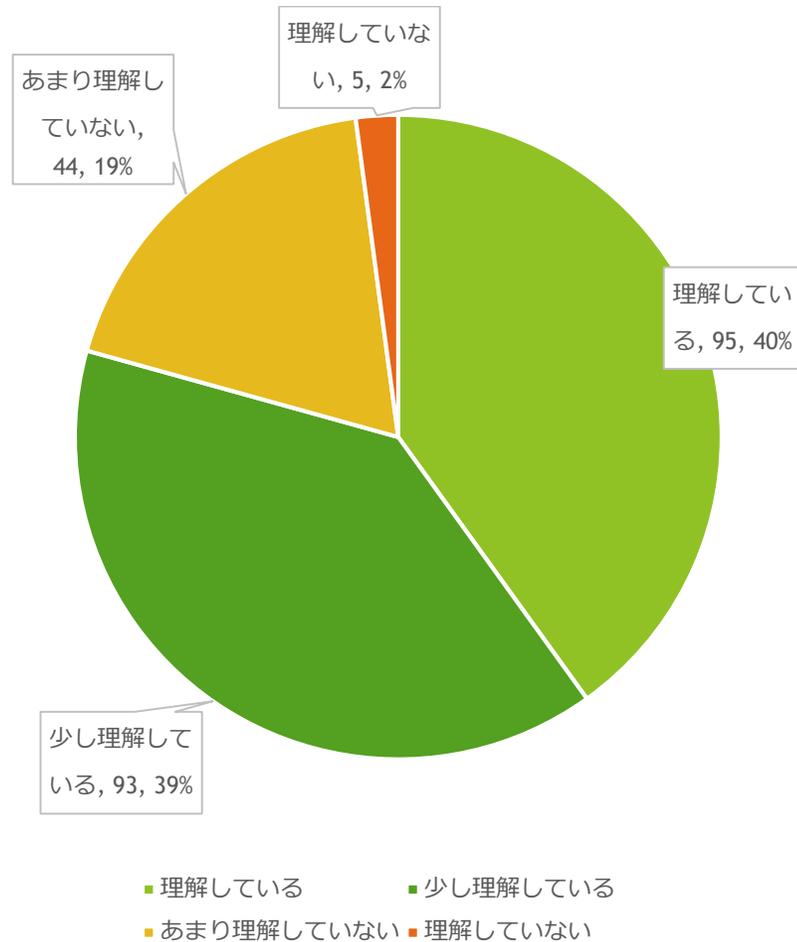
- ▶ 本学の「ディプロマポリシー」の理解に関する質問である。「理解している」学生は全体の45%（去年は34%）を占め、「ある程度理解している」学生を加えると、全体の81%（去年は83%）の学生が理解しているという結果となった。

9-6 (上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ) 入学後に、あなたは「ディプロマポリシー」を意識して、卒業認定・学位授与に向けて努力できていると思いますか？



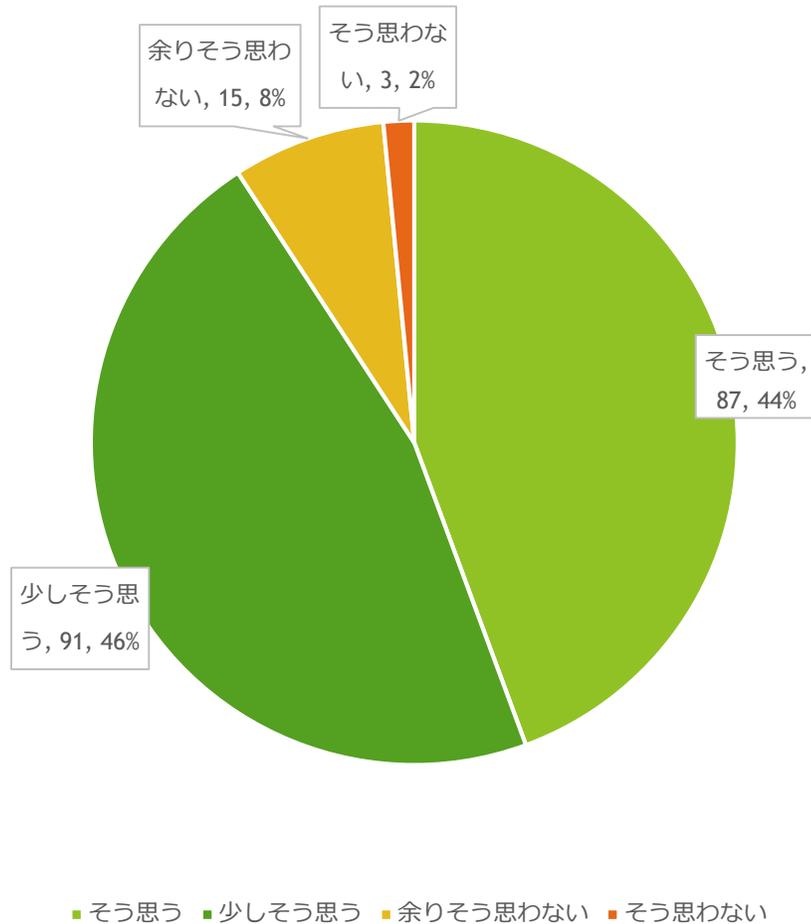
- ▶ 本学の「ディプロマポリシー」の理解に基づいて、日ごろの生活にその内容が活かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の46%（昨年は34%）を占め、「少しそう思う」学生を加えると、全体の90%（昨年は85%）の学生が、本学のディプロマポリシーを理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。

9-7 本学の学生便覧に記載されている「カリキュラムポリシー」（教育課程編成・実施の方針）を理解していますか？



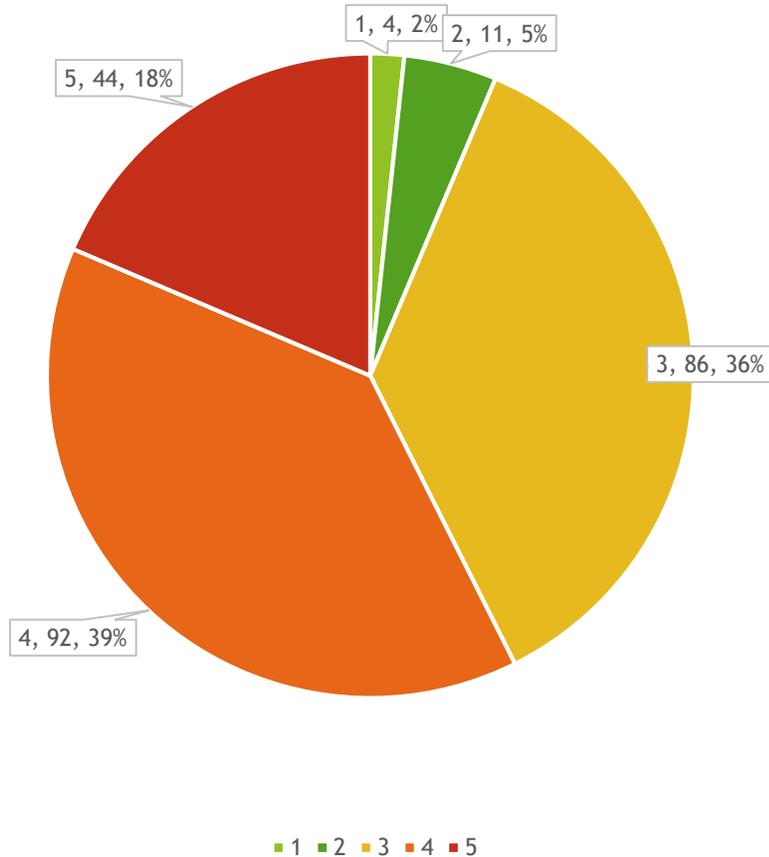
- ▶ 本学の「カリキュラムポリシー」の理解に関する質問である。「理解している」学生は全体の40%（去年は36%）を占め、「ある程度理解している」学生を加えると、全体の79%（去年は84%）の学生が理解しているという結果となった。

9-8 (上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ) 本学は、基礎から応用までを体系的に学べるカリキュラムと授業が実行されていると思いますか？



- ▶ 本学の「カリキュラムポリシー」の理解に基づいて、日ごろの生活にその内容が活かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の44%（昨年は32%）を占め、「少しそう思う」学生を加えると、全体の90%（昨年は89%）の学生が、本学のカリキュラムポリシーを理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。

10-1 この大学における教育全体について、あなたの評価は5段階のうちいくつですか？



- ▶ 本学の教育への総合的な評価を問う質問である。5が18%（昨年は14%）、4が39%（昨年は39%）であり、57%の学生が高得点を付けている。昨年同様4が最も多い結果となったが、5の評価が増加しており、全体として学生の評価が更に良い方向へ向かっている。今後も学生の学習環境を改善するなど、大学が充実した学生生活を送る手助けを積み重ねることによって、本学に在籍し卒業していく学生たちのより大きな満足感に寄与できるよう努めたい。

10-2 もしあれば、
この大学について不満
を感じている点につい
て書いてください。

文字の長さがそれぞれ異なる回答が50件
寄せられていて、1ページにまとめきれ
ないため、ここでは割愛し、別添書類と
してまとめる。

10-3 もしあれば、
この大学に入学して良
かったと思う点につい
て書いてください。

文字の長さがそれぞれ異なる回答が50件
寄せられていて、1ページにまとめきれ
ないため、ここでは割愛し、別添書類と
してまとめる。